

＜ 現況調査基準等について ＞

現況調査 調査基準

	現況A	現況B	現況C	現況D	現況E
	支障なし	経過観察 劣化進行防止	劣化進行の抑制 延命対策	大規模補修・部分更新	機場の全体的な改築更新
健全度 ※判定要領 参照	【健全度5】 問題なし	【健全度4】 劣化の兆候が見られる	【健全度3】 劣化が進行しているが、 機場の機能に支障が出る程ではない。	【健全度2】 劣化がさらに進行し、 機場の機能に支障 が出る恐れがある。	【健全度1】 劣化が著しく、補修・部分更新 では対応不可。機場の機能に支 障が出る恐れがある。
経過年数	【経過年数1】 標準耐用年数の5割以下	【経過年数2】 標準耐用年数の5割超	【経過年数3】 標準耐用年数を超過	【経過年数4】 目標耐用年数に到達	
維持費	安定している	—	計画外の部分で 増加している。	大規模補修・部分更新した方 がLCCを低減できる。	機場の全体的な改築更新をした 方がLCCを低減できる
技術基準等	支障なし	設計基準が見直されたが、 主な部分では問題がない。	設計基準等の変化 により課題あり	設計指針改定等で強度不足 能力不足が明らか	

※現況調査は各項目の最低値を採用



(参考) 現在の現況調査基準

点検項目	現況A	現況B	現況C	現況D	現況E
	支障なし	経過観察 劣化進行防止	劣化進行の抑制 延命対策	計画的補修	全体的な改築・更新
外観	劣化無し	若干の劣化あり	劣化あるが、支障なし	劣化あり 修繕で対応	根本的な対策必要
動作状況	順調	たまに異常発生 運転に支障なし	異常箇所は多いが、 運転に支障無し	応急措置等に対応 運転に支障をきたす	根本的な対策必要
故障	初期故障のみ	偶発故障	故障発生 運転に支障無し	故障頻度の増加	根本的な対策必要
維持費	コスト縮減可	安定	増加傾向	増加している	大がかり補修
機能	支障無し	支障なし	要請機能変化なし	設計基準等対比すべき	信頼性・経済性を考慮して 改築すべき
部品	支障無し	手配に多少時間かかる	製作中止 (代替品対応)	代替品対応	部品手配困難
年数	設置後5年未満	設置後10年未満	標準耐用年数未満	標準耐用年数 5年超10年未満	標準耐用年数 10年以上(機械)
社会的要因	支障無し	支障無し	設計基準等の変化により課題あり	設計指針改定等で強度不足 振動・騒音等周辺環境への影響	能力不足が明らか

● 健全度評価基準

	健全度5	健全度4	健全度3	健全度2	健全度1
健全度	問題なし	劣化の兆候が見られる	劣化が進行しているが、機場の機能に支障が出る程ではない。	劣化がさらに進行し、機場の機能に支障が出る恐れがある。	劣化が著しく、補修・部分更新では対応不可。機場の機能に支障が出る恐れがある。

● 健全度（状態監視型） 判定要領

※各項目の最低値を採用（継続監視項目は健全度3扱いとする。）

	健全度5	健全度4	健全度3	健全度2	健全度1	
外観構造	傾向管理値（隙間寸法等）	問題なし	傾向管理値に悪化の兆しがある。	傾向管理値の悪化傾向にある。	傾向管理値がさらに悪化し、機場の機能に支障が出る恐れがある。	
	錆	問題なし	若干の発錆が見られる	錆が広がっている。	錆が酷く、強度不足等が懸念される。	
	腐食	問題なし	部材表面が腐食している。	腐食が部材に進行している。	腐食が部材内部に進行し、強度不足につながる恐れあり。	設備の根幹部分（排水ポンプのケーシング・インペラまたは水門の扉体）で腐食が著しく、強度不足が懸念されるが、補修対応が困難な状態。
	摩耗・変形	問題なし	主要部材に摩耗または変形が見られる。	主要部材に摩耗または変形等が見られ、今後さらに変形が進む恐れがある。	主要部材に摩耗または変形等が見られ、機能に支障が出る恐れがある。	設備の根幹部分（排水ポンプのケーシング・インペラまたは水門の扉体）に摩耗や変形が見られ、機場の機能に支障が出てもおかしくない状態であるが、補修対応が困難な状態
	潤滑油系統	問題なし	潤滑油に若干の滲みがある。潤滑油類に水混入の形跡がある	潤滑油に漏れがある。潤滑油類に水混入の形跡があるが、パッキン交換では治らない。	潤滑油類に水が混入しており、機能に支障が出る恐れがある。	
	ワイヤーロープ	問題なし	ワイヤーロープ径が減少の兆しあり。	ワイヤーロープ径が減少傾向にある。	ワイヤーロープ径が基準値に近づいている、または素線切れ等があり、機能に支障が出る恐れがある。	
	水密ゴム	問題なし	水密ゴムに損傷が見られる。	水密ゴム損傷が見られ、水密性が確保されていない可能性があるが、機場の機能に支障が出る程ではない。	水密ゴム損傷等により水密性確保できず、機場の機能に支障が出る恐れがある。	
	その他 事象に合わせて記述					
動作	傾向管理値（振動、騒音、温度等、絶縁抵抗など）	問題なし	傾向管理値に悪化の兆しがある。	傾向管理値が悪化傾向にある。	傾向管理値がさらに悪化し、機場の機能に支障が出る恐れがある。	
	異常音	異常音なし	稀に異常音が発生する場合があります。	異常音が発生しているが、機能に支障が出る程度ではない。	異常音が発生しており、メーカー等の原因報告書の中で異常音が理由で分解整備または更新が必要と明記されている。	
	異常振動	異常振動なし	稀に異常振動が発生する場合があります。	異常振動が発生しているが、機能に支障が出る程度ではない。	異常振動が発生しており、メーカー等の原因報告書の中で異常振動が理由で分解整備または更新が必要と明記されている。	
	能力	問題なし	能力低下の兆候がある。	能力低下が確認できる。	能力低下が確認でき、機場の機能に支障が出る恐れがある。	
	その他 事象に合わせて記述					
故障	故障頻度	故障なし	偶発故障が稀に発生する。	故障が増えている。	故障増加または重大な故障が発生し、メーカー等からの原因報告書の中で、更新等が必要と明記されている。	
	その他 事象に合わせて記述					
部品	時間計画交換型の部品	—	—	—	分解が必要な箇所の部品が交換時期に来ており、交換しないと機場の機能に支障が出る恐れがある。	
	重要部品供給状況	—	—	部品供給停止見込みとなったが、当面は在庫品または予備品にて対応可能である。	部品供給停止見込みとなり、在庫品または予備品による対応が困難で、機場の機能に支障が出る恐れがある。	
	その他 事象に合わせて記述					

● 健全度評価基準

	健全度5	健全度4	健全度3	健全度2	健全度1
健全度	問題なし	劣化の兆候が見られる	劣化が進行しているが、機場の機能に支障が出る程ではない。	劣化がさらに進行し、機場の機能に支障が出る恐れがある。	劣化が著しく、補修・部分更新では対応不可。機場の機能に支障が出る恐れがある。

● 健全度（時間計画型） 判定要領

健全度		健全度5	健全度4	健全度3	健全度2	健全度1
部品	重要部品供給状況	—	—	部品供給停止見込みとなったが、当面は在庫品または予備品にて対応可能である。	部品供給停止見込みとなり、在庫品または予備品による対応が困難で、機場の機能に支障が出る恐れがある。	
	その他 事象に合わせて記述					
故障	故障頻度	故障なし	偶発故障が稀に発生する。	故障が増えている。	故障増加または重大な故障が発生し、メーカー等からの原因報告書の中で、更新等が必要と明記されている。	
	その他 事象に合わせて記述					